

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	国際交流員設置事業	
根拠法令等	蒲都市国際交流員設置要綱		Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	国際交流
------------------	------

事務事業の内容

対象	市内在住者、在勤者に対し、
手段	国際交流員の語学指導や国際交流事業への参加により
想定する成果	国際理解を深める。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
英会話教室開催数	4シリーズ 30回	6シリーズ 53回	3シリーズ 24回
英会話受講者数	113名	148名	90名
講師等派遣日数	34日	38日	40日

成果指標

成果指標名	1シリーズの受講目標数に対する受講率	年間派遣目標日数に対する派遣率
成果指標の説明	$\frac{\text{受講者数}}{\text{開催シリーズ数}} \div 30人 \times 100$	$\frac{\text{年間派遣目標日数}}{\text{派遣日数}} \div 40日 \times 100$

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	94.2%	82.2%	
成果指標	計画			100.0%
	実績	85.0%	95.0%	
事業費	事業費	5,706	5,057	5,852
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	8,213	7,536	8,379
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	176	27	33
	一般財源	8,037	7,509	8,346

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	実績数値としては悪くないが、同じ人が何回も受講する 場合がある。
経済効率性	2	2	国際交流事業への参加、英会話教室の開催、学校・保育 園行事への参加など市民向けアピールはできている。
事務効率性	2	2	国際交流員自身が、企画し、起案するなど事務的な補助 もやっている。
必要性	1	1	国際交流事業に国際交流員が必要不可欠のものではな い。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民からの要望がそれほど強い事業ではない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	国際交流員自身は、着実に事業を行っているが、国際交 流員がいなければできないという国際交流事業は少な い。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

受講者が何回も受講する場合があるので、年齢区分を設けたり、定員を超えた場合は初めての人を優先的に選んだ。

今後改善すべき点

東三河管内の国際交流所管課の会議で、国際交流員の広域活用を議題とし、その可能性を検討する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	浦添市交流事業
根拠法令等	友好都市提携協定書、スポーツ・文化交流取扱基準		Dその他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

市民とともに歩むまちづくり	広域行政・地域間交流
---------------	------------

事務事業の内容

対象	蒲郡市民と浦添市民が
手段	相互に訪問し、スポーツ・文化等の交流を行うことにより、
想定する成果	両市民の理解及び絆を深める。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
派遣団体数・人数	1団体・25人	2団体・51人	2団体・50人
派遣に係る事業費	756千円	1,312千円	1,512千円
受入団体数・人数	2団体・55人	2団体・46人	2団体・50人
受入に係る事業費	706千円	565千円	839千円

成果指標

成果指標名	派遣人数	受入人数
成果指標の説明	派遣人数	受入人数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			50人
	実績	25人	51人	
成果指標	計画			50人
	実績	55人	46人	
事業費	事業費	1,462	1,877	2,351
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	3,969	4,356	4,878
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,969	4,356	4,878

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	交流団体、交流参加者数とも予定通りとなっている。
経済効率性	3	3	交流経費の全額を市で負担ではなく、交流団体にも一定の負担を求めている。
事務効率性	2	2	交流団体同士で計画が立てられ、その計画に基づき実施されている。
必要性	2	2	沖縄の異文化を市民が知る機会となっている。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	
合計	13 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	参加者は一様に参加して良かったとの感想である。この交流を契機として、各団体或いは個人間での交流が始められている。この事業は、交流の第一歩として適切である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

以前はスポーツ団体中心の交流であったが、13年度から文化協会の交流を始めた。基本的には、スポーツ団体交流、文化団体交流共に2団体とした。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

16年度は市制50周年であるので、浦添市からの訪問団(訪問回数、人数)を増やす。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市民所得推計事業
根拠法令等			Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

	施策名
その他	その他

事務事業の内容

対象	蒲郡市における経済の規模、構造について
手段	計量的に調査し、愛知県へ報告することにより、
想定する成果	県域の経済状況等の調査、公表に資する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度実績
アルバイト雇用時間数	194時間	181時間	190時間
データ入力件数	7,725件	9,242件	12,376件

成果指標

成果指標名	データの時間当り処理件数
成果指標の説明	データ入力件数 / アルバイト雇用時間数

事業の進捗状況 (会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度決算
成果指標	計画			
	実績	39.8件	51.0件	65.1件
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	299	285	290
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,971	1,938	1,974
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,971	1,938	1,974

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	毎年、滞りなく、県にデータを送っている。
経済効率性	2	2	データ入力をアルバイトを雇って行っている。
事務効率性	2	2	
必要性	2	2	県が求めているものであり、結果として「あいちの市長村民所得」の発行ができています。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	長年、県の発行している「あいちの市長村民所得」のデータとなるものであり、本市だけの離脱はできない。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業
根拠法令等	蒲郡市地域新エネルギービジョン・蒲郡市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱		Dその他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	エネルギー
-----------------	-------

事務事業の内容

対象	市内の住宅(店舗併用住宅を含む。)の所有者に対し、
手段	住宅用太陽光発電システム設置費補助金を交付することにより、
想定する成果	効果的な新エネルギーの導入を推進する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
導入件数		29件	20件
出力総計		106.63kw	100kw

成果指標

成果指標名	導入件数率	導入出力率
成果指標の説明	地域新エネルギービジョンの導入目標件数(2010年まで)：300件 導入件数 / (目標件数 / 9年) × 100	地域新エネルギービジョンの導入目標出力(2010年まで)：900kw 導入出力 / (目標出力 / 9年) × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			60.0%
	実績		87.0%	
成果指標	計画			100.0%
	実績		106.6%	
事業費	事業費		9,547	8,000
	人件費		3,305	2,527
	(人数)		0.4	0.3
	合計		12,852	10,527
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源		12,852	10,527

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	導入件数率は100%に届かなかったものの、導入出力率は100%を超えることができた。初年度効果が大きかったと思われるので、引き続き周知に努め、件数の増加を図る必要がある。
経済効率性	3	3	1件当たり4kw(40万円)を上限として補助金を交付したが、8件は上限を上回る出力のシステムを導入した。市民意識の高さが伺える。
事務効率性	3	3	(財)新エネルギー財団の上乗せ補助であるので、書類の確認等で簡略化できる。
必要性	2	2	補助制度が無くても太陽光発電システムの導入が図られることが望ましいが、導入初期の段階としてはやむを得ない。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	太陽光発電システムの有用性の周知に努め、更に導入の増加を図る必要がある。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

--

今後改善すべき点

当初予算を上回る申請がある場合がある。当初予算の見積りと補正対応を財務課と調整しておく必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	企画部	企画調整課	内線等	1532
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道水源保全交流事業
根拠法令等	水道水源基金条例		B 条例

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡市民と鳳来及び設楽町民に対し、
手段	水道水源基金を財源とする両地域間の交流事業を実施することにより、
想定する成果	水源地域や森林が下流域に果たしている役割を浸透させる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
交流事業実施回数	3回	3回	3回
交流事業参加者数	166人	219人	180人
交流事業費	4,864千円	5,279千円	5,359千円

成果指標

成果指標名	1回当りの参加者数	1回当りの交流事業費
成果指標の説明	参加者数 / 実施回数	交流事業費 / 実施回数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			60人
	実績	55.3人	73人	
成果指標	計画			1,787千円
	実績	1,622千円	1,760千円	
事業費	事業費	1,521	1,974	1,990
	人件費	3,343	3,305	3,369
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	4,864	5,279	5,359
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	1,521	1,974	1,990
	一般財源	3,343	3,305	3,369

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	広報で参加者を募集し、定員を超える申込がある。
経済効率性	1	1	山間部を訪問する場合は、狭隘な道を通るため、小型バスを利用せざるを得ない。
事務効率性	2	2	鳳来町、設楽町との連携を図って、効果的に行っている。
必要性	3	3	水源の保全が海の浄化に繋がることから、水源地域の住民との交流は必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	参加した市民からは概ね好評を得ている。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	市民の水資源に対する意識啓発のため、継続させる必要がある事業である。
------	---	---	------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

新たな事業として間伐材の写真募集を行う。その賞品として、設楽町の野菜をプレゼントするなど地元と連携を図りながら、事業を行っている。

今後改善すべき点

間伐材の利用促進、森林作業への協力など水源保全事業をひろげたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載